組合强化の鉄のタガ

地域分会愈々近く實現

組合がほんとに强く正しくある為め、女子・児童部（中、小学生）を協力も強にも緊密な連絡をはかる事と、には組合員は勿論の事家族が一つ機関として設ける事も出來、疑になって居る。

に睦み合い親睦部と渾然一体相互の融和をはかると共に文化、福利の増進を期す事が肝要だとの見地から鉱組では地域分会を作ってく計画を進めていたが、十日の中央委員会で正式決定を見たので愈々実現に乗り出す事となった。これは執行部の協力機関として組合運務を円滑に推進する事を目的とし組合決議事項の周知徹底とその実践分会員とその家族の教育、文化活動、福祉厚生その他必要な事項を行うもので各分会には正副分会長、幹事、会計等の役員を置き、また幾つかの班に分けて班会議、役員会議、分会総会の他各部分会々議で色々な取決めや運務の執行に当る事となって居り、更に各分会には実情に応じて婦人部（満十六才以上の男子）青年部（満十六才以上の男

三鏡労組

第一章　總則

第一條　この規程は規約第六十條に基く地域分会の定めとする

第二條　この分会は別に定める地域に居住する組合員を以て組織する。但し分会の実情により特別会員の加入を認めることが出來る

第三條　この分会は執行部の協力機関として組合員並に家族の文化、福利の増進と相互の融和を図り以て組合運務を円滑に推進することを目的とする

第四條　この分会は前條の目的を達成する為左の事項を行う

一、組合決議事項の周知徹底に関する事項

一、分会員並にその家族の教育文化に関する事項

一、福利、厚生に関する事項

一、その他組合活動の推進強化に資する事項

第二章　機關

第一節　会議

第五條　この分会の会議を左の通りとする

分会員総会

役員会議

班会議

支部分会長会議

第六條　分会員総会は当該分会の全会員を以て構成しその分会に関する事項を審議決定する

第七條　役員会議は当該分会の分会長、副分会長、幹事を以て構成し、幹事の附託事項の審議決定並に業務執行について協議する

第八條　班会は別に定める区域の班員全員を以て構成しその班に属する事項を審議決定する

第九條　支部分会長会議は当該支部分会長全員を以て構成し支部の地域に関する全般的問題について審議決定する

会議は支部長がこれを招集する

第十條　会議は第九條、第十四條第十六條に定めるもの、他その会議構成員の過半数の請求があったときは開催しなければならない

第十一條　各会議は夫々構成員の過半数の出席を以て成立し、決定は出席者の過半数の同意を以て行う

第十二條　会議の議長は各々その招集者がこれに任ずる

第二節　役員

第十三條　この分会には左の役員を置く

分会長　一名

副分会長　若干名

幹事　若干名

会計　若干名（会計監査は第二十三條による自主性とし必要な分会は幹事兼務とする）

第十四條　分会長は分会を統轄し表し分会員総会並に役員会議を招集する

第十五條　副分会長は分会長を補佐し分会長事故あるときはこれを代理する

第十六條　幹事は別に定める班を統括代表し班会議を招集する

第十七條　役員は夫々の職又は分会構成員の選挙によって決定する

第十八條　役員の任期は組合改選期より選出する

第十九條　役員に欠員を生じた時は十五日以内に後任者を選出しなければならない

但し改選前三十日以降の場合は各分会の自主性による

第三節　協力機関

第二十條　各分会は第三條の目的を達成する為その事情に應じ協力機関として左の部を設けることが出來る

一、婦人部

一、青年部

一、児童部

第二十一條　前條各部は会員、特別会員及びその家族中左の條件を備へ且つ希望する者を以つて組織する

一、婦人部　各世帯の主婦

一、青年部　満十六才以上の男子及女子

一、児童部　新制中学並に小学校生徒

第二節　分会及班

第二十二條　第二條に定める地域に居住する分会及班の組織地域は各支部の実情により夫々支部又は分会に於て決定する

第三章　會計

第二十三條　この分会の自主的運営に関する経費の徴收並にその方法に対しては夫々支部又は分会の決定による

第四章　雜則

第二十四條　支部及分会はその規程に違する程、その支部又は分会の運営その他に関する細則の制定改廃をすることが出來る

附　則

第二十五條　本規程は昭和　年　月　日から施行する

みんなニコニコ

目立って事故も減つた

四山の明朗化運動着々奏功

採炭現場の坑口

坑掘よけに露頭を採掘

採炭野

鉱務部では三の島からイチ野の間あけ、かぶり込み、地ならし等鉱務部では三の島からイチ野の間あけ、かぶり込み、地ならし等西口採掘準備に取掛った。これは最近石炭ブームに乗って鉱山が頻々として起るので監督部からの注意もあり、掘り易い部分だけを採掘し盗掘（ヤマ）を防ごうとするもので、露頭口の約十米程下の道路際から坑道をうがって上部の石炭を殺さず跡を土砂で埋める事となっており、目下五人で坑口を

大牟田の東北十新の所に昭十四年起工し、十六年六月十日創業を開始したのが渡瀬工場である。戦時中は陸軍の砲弾、高射機関砲の砲身を測定具などを製作したものである

渡瀬工場

縮少して黒字經營

寒村に響く再建の槌音

昭和十六年、十九年と戦争の色濃くなる頃、女学校卒業生を学徒動員令と共に十二時間勤務の長時間勤務をやったのである

労働基準法の成立された今日から見れば夢の様なものがある。而し国会で問題になっている再建側が実現すればこの様な苦なくてはならぬであろう。

その後どうなったか??（第五回）

一時閉鎖になるかに思はれた渡瀬工場も石炭ブームに依り再建の中堅としてその技術と人格は賞讃されている。鬼もあれ苦難の道を歩いた渡瀬工場、お隣村高田村の一角で再建の槌音は力強いものがある。

職場婦人の教養と趣味の會

主催　主婦之友文化事業部
後援　文部省・労働省

三井鑛山株式會社
三池炭鑛労働組合

演題及講師

正しい産制の知識と實際
醫学博士　福田昌子
衆議院議員

最近のヨーロッパより歸りて
主婦連合會長　奥むめお
参議院議員

特別漫談家　大辻司郎

講演日程

十四日　后一時三〇分　三川講堂
后六時三〇分　四山講堂
十五日　前十時　宮原講堂

柔かい映畫

3月15日から巡回へ

四山社宅の江崎寛さんが今週のポープである。

江崎さんは四山鉱の養成工第四期生として昭和十三年四月入所したのである。養成終了後鑛員職人として働いていたが、時代の流れに従い職業に志願して七年間満鉄の工を勤務として来たのである。敗戦後入所したのである。一度十二人の長男として間接夫では食つて行くことが出來ない。折角身につけ好みの仕事である鑛業職を離れて増收を図るため、採鑛……大地の主催鑛業職員は金、土、日曜日から用役所前一

今週のポープ

四山社宅の江崎寛氏

機關紙を蒐集

誠實勤勉な職場人

に依って復員してみれば一家の支柱である、父親松次さん（62）は坑内運搬四十年の経験と技術をもって働いていたが、敗戦後田不幸があったのである。あまり高くはなかったが、書類を折った為不具となり収入の道が閉ざされたので、以來江崎さんは長男の責任から父親を背負って熊本へ行き別れぬ手付きで一日半夜寝ない歩行も出來る様になった。

機関紙の蒐集はめづらしい。東京に当っての江崎さんの弁なれば

別にこれを集めてどうするという意持はありませんでしたが、時折眺めて

読んでみる社会の様子がよくわかり、非常に面白く為になることが沢山あります。以前は坑口で配布されていたので集めることが非常に困難でしたが、近頃私の方の支部では社宅単位、地区分を単位で配布して頂くので集めるのに非常に都合がよくなりました。又家族も読み慣になって社宅に配って頂くことは非常によみやすくなりました。

と語っていられた。

案内に出た西口支部鑛官部長松尾氏は「江崎さんの親孝行は近所の評判で模範的でも非常に感心致します」と説明を加えてくれた。

家族は妻と二人のお嬢さんがあるさんと二人のお嬢さんがある

一着のタイムは？

豫想懸賞募集

大地評
主催驛傳

三月廿一日	七夕（昼）原（夜）	三井三池（夜）
三月廿二日	長崎、尻永（昼）	三井三池（夜）
三月廿三日	東谷（夜）	三井三池（夜）
三月廿四日	勝立（昼）	三井三池（夜）
三月廿五日	野添（夜）	三井三池（夜）
	宮内（昼）	三井三池（夜）
	大平（夜）	三井三池（夜）
	四山鑛業（昼夜）	三井三池（夜）

婦人

オッカナビックリ？生れて始めて坑内見學

長溝、西濱田婦人會

長溝支部では十二月の定例婦人会役員について、十二月の幹部との懇談会席上提案された事に基き、坑内を見学したいとの要望に添へ会社に安部関係と折衝の結果、昨日二月十二日から三日間坑内見学を行った。

廿二日、長　藤社宅　十九名
廿三日、〃　十二名
廿五日　西浜田宅　五名

戦時中思わせる様なモンペ姿に倚り物の坑内婦子キャップランプに身を固めた一行は不安と好奇心にかられながら不慣れな人事に興味ゆく側壁を流ゆくベルトコンベヤーに目を投じつつ坑、中四十有余年になってまだ一回も坑内に入坑をしていない婦人が、鑛業に動務している個主人を持つ長溝婦人会々長入江稔さんは左の様に語った。

私達一家は終戦後朝鮮から引揚げて来て主人は早速坑に御世話になりましたが、主人は早速坑に御世話になりました。

坑内の事は全然解りません。坑内見学の点だけでは宅より私が御陰で一枚覚識が上廻ります。

ようウ……折角、入坑をしたが出来ればぜひ坑道、思ったが……家庭の婦人会の見学という事がよく解りました。

花園副支部長談

婦人会の要望が切羽迫という事で要望に添う様と思ったが保安面入等の問題もあったと御大変と思いつつ、割り切って来た。今後も続けたいと思っている。

今回の見学に種々御協力願った鉱長始め保安部に対し厚く御礼を表する。

内見学の点だけでは宅より私が御陰で一枚覚識が上廻ります。

ようウ……折角、入坑をしたが出来ればぜひ坑道、思ったが……家庭の婦人会の見学という事がよく解りました。

花園副支部長談

婦人会の要望が切羽迫という事で要望に添う様と思ったが保安面入等の問題もあったと御大変と思いつつ、割り切って来た。今後も続けたいと思っている。

今回の見学に種々御協力願った鉱長始め保安部に対し厚く御礼を表する。

内坑をしていない婦人が、鑛業に動務している個主人を持つ長溝婦人会々長入江稔さんは左の様に語った。

私達一家は終戦後朝鮮から引揚げて来て主人は早速坑に御世話になりました。

坑内の事は全然解りません。坑内見学の点だけでは宅より私が御陰で一枚覚識が上廻ります。

ようウ……折角、入坑をしたが出来ればぜひ坑道、思ったが……家庭の婦人会の見学という事がよく解りました。

花園副支部長談

婦人会の要望が切羽迫という事で要望に添う様と思ったが保安面入等の問題もあったと御大変と思いつつ、割り切って来た。今後も続けたいと思っている。

今回の見学に種々御協力願った鉱長始め保安部に対し厚く御礼を表する。

高まる目覚め

興味ある長溝婦人會の輿論調査

長溝婦人会では、「電鑛人会のあり方について輿論調査を行ったが、組合

婦人

オッカナビックリ？生れて始めて坑内見學

長溝、西濱田婦人會

長溝支部では十二月の定例婦人会役員について、十二月の幹部との懇談会席上提案された事に基き、坑内を見学したいとの要望に添へ会社に安部関係と折衝の結果、昨日二月十二日から三日間坑内見学を行った。

廿二日、長　藤社宅　十九名
廿三日、〃　十二名
廿五日　西浜田宅　五名

戦時中思わせる様なモンペ姿に倚り物の坑内婦子キャップランプに身を固めた一行は不安と好奇心にかられながら不慣れな人事に興味ゆく側壁を流ゆくベルトコンベヤーに目を投じつつ坑、中四十有余年になってまだ一回も坑内に入